

# 中華人民共和国における 革命と女性の叙事

田村容子  
(福井大学)

# はじめに

- 共同研究「社会主義文化における戦争のメモリー・スケープ研究—旧ソ連・中国・ベトナム」
- 『地域研究』14巻2号 特集「紅い戦争の記憶—旧ソ連・中国・ベトナムを比較する」
- 拙論「革命叙事と女性兵士—中国のプロパガンダ芸術における戦闘する女性像」

# 20世紀中国における戦争・革命・女性

- 日清戦争（1894-1895）
- 日中戦争（1937-1945）
- 文化大革命（1966-1976、略称「文革」）
  
- 外部の“他者”（敵）と内部の“他者”（女性）  
がどのように描かれたのか
- 画報（絵入り新聞）・連環画（絵物語）・样板戲  
（革命模範劇）といったプロパガンダメディアの  
表象研究

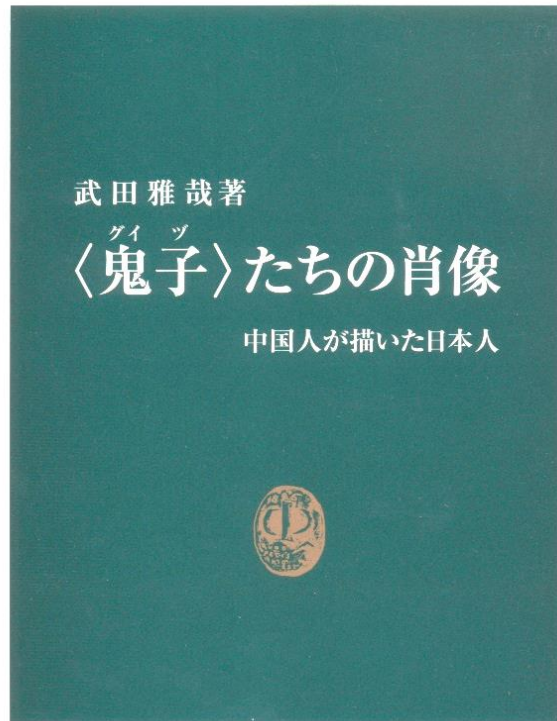
2010年、日本のインターネット上に出現した  
日本人の想像する「日本鬼子」と「小日本」



# 「日本鬼子」 (リーベンゲイズ)

- 想像の「敵」の顔
- 戦時期メディアによる創造
- 憎悪の原動力／書き換えられた記憶
- 日清戦争期に登場、日中戦争期に流通、  
文革期に典型化

武田雅哉『〈鬼子〉たちの肖像』  
中公新書、2005



中公新書  
1815

劉文兵『中国抗日映画・ドラマ  
の世界』祥伝社新書、2013



# 様板戯の役柄と女性像

# 样板戲（革命模範劇）

文化大革命（1966-76）

1967年 革命現代京劇『智取威虎山』『紅灯記』

『沙家浜』『海港』『奇襲白虎團』

革命現代バレエ『紅色娘子軍』『白毛女』

革命交響音樂『沙家浜』

「八つの模範劇」





# 样板戲の特徴

- ① 中国共産党の軍隊、地下党員の活躍  
「冒険活劇」「スパイもの」の要素



- ② 「敵」（日本軍、国民党、地主、軍閥など）  
との闘争と勝利  
「戦争の記憶」を「建国神話」へ

- ③ 正面人物と反面人物



# 样板戲の女性像

- ① 英雄は単身、平等な両性関係は描かれない
- ② 女性英雄は革命化の過程で「男性化」する
- ③ 英雄に導かれる女性のみが「女性性」を具える



# 伝統京劇の女性像

## 旦（女性役）

青衣



花旦



武旦



老旦



# 样板戲の女性像

長髪（おさげ）＝少女  
（未婚）

短髪＝革命戦士  
（寡婦）

長髪（おだんご）  
＝妻（既婚、夫不在）



白髪＝老婆（既婚）

髪型が身分を決定し、黒髪の割合が「女性性」を示す

# 黒髪の割合＝「女性性」

## 革命現代バレエ『紅色娘子軍』

- ・ 「少女」から「革命戦士」へ
- ・ 男性英雄の教導、女性主人公の成長、  
男性英雄の死による「寡婦」型革命戦士の誕生



# 「妻」と「寡婦」のあいだ 夫不在の女性像

## 革命現代京劇『沙家浜』

- ・「革命戦士」阿慶嫂は「妻」に身をやつす
- ・登場しない阿慶
- ・傷兵の移送工作に成功



## 革命現代バレエ『沂蒙頌』

- ・農夫英嫂
- ・瀕死の共産党解放軍兵士を母乳で救う



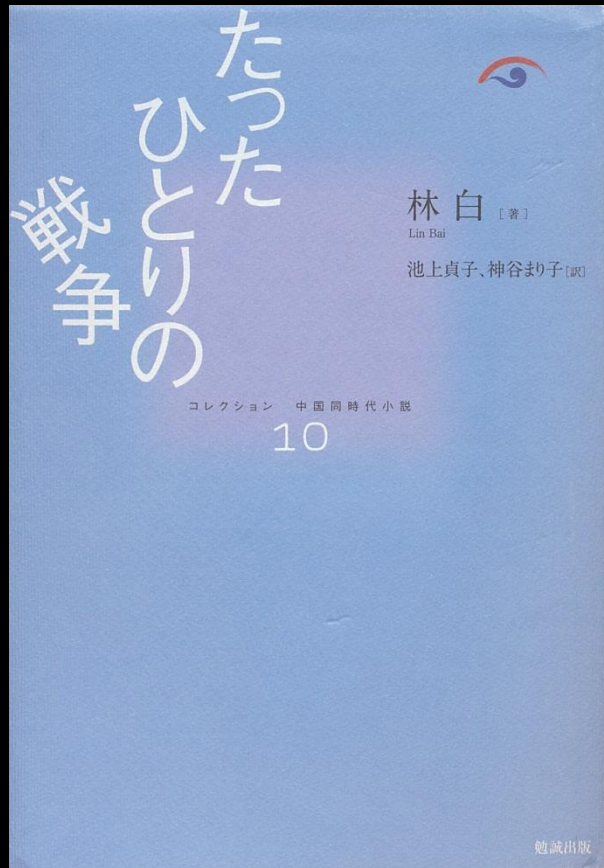
# 「妻」と「寡婦」のあいだ 夫不在の女性像

- ・ 夫の不在＝「党」との一体化
- ・ 「寡婦」型「革命戦士」は脱「女性化」するため、「妻（夫不在）」が傷兵の救出などの任務を担う

『紅色娘子軍』 『沙家浜』 『沂蒙頌』

- ・ 「寡婦」型「革命戦士」は「男性化」する前提  
「女性性」のコードを跨ぐ叙事
- ・ 女性の身体（髪型）のまま、革命叙事の主体を担う

# 样板戲の女性像 文革後の記憶



・革命現代バレエ『白毛女』の女優に、語り手の女性が寄せる視線

「姚瓊はわたしの目の前で上着をぬぎ、ブラジャー姿になった。彼女の形のよいずっしりとした乳房が目の隅に入ると、わたしの心の中は期待にあふれた。この期待は二重になっていた。ひとつは一輪の花か一粒の真珠を前にした時のように、このたぐいまれな美しさをもつ体に触ってみたいというもので、もうひとつは自分も大きくなったらこのようになりたいというものだった」。

林白『たったひとりの戦争』  
(池上貞子、神谷まり子訳)  
勉誠出版、2012 (1994初出)



# 二十一世紀の日本人像

『地雷戦』 1962



『紅灯記』 1970



『鬼子来了』 2000





『紫日』 2001

『南京!南京!』  
2009



I'll go.





『金陵十三釵』  
2011



# 外部の“他者”と内部の“他者”

- 「日本鬼子」→  
（中国人と共通する）男性主体の喪失  
英語話者の優位
- 革命叙事における「妻（夫不在）」→  
自らのジェンダーや身体を主体的に行  
使して叙事の主体を行う  
「救国の妓女」像との関連